

● 校訓

『自立 創造 躍進』

《校訓の解説》

自立……社会を構成する一員として必要な学力・体力・人間力を身に付け、立派な社会人として成長し、且つ経済的にも自立できる人間を育成する。

創造……「専門技術の習得」や「ものづくり」の基本を習得させるとともに、世界につながる創造性豊かな人間を育成する。

躍進……世界に羽ばたく人材を育成し、地域に信頼され、時代とともに飛躍・発展していく学校を目指す。

● 校章



制定日：平成19年12月26日

図案者：下地 盛雄

《図案の解説》

- 1 全体的構想 新しく誕生した学校で学習に励み、再び世界大賞に輝くよう、地球規模で羽ばたく生徒、躍進する学校をイメージ。
- 2 校章(ロゴマーク)構成
 - * 赤の三角(地球上の学校の位置)
赤く燦々と輝く学校
 - * 中心のブルーの球(グローバルに地球をイメージ)
農業(資源色の緑)、水産(資源色、海の青)
商業(地球：国際市場)を表し、グローバル化に対応する産業教育について学習する学校。
(知識・技術の創造)
 - * 三本のライン
緑(農業分野)、青(水産分野)、赤(情報・マーケティング：商業分野)での幅広い知識・技術を修得したスペシャリストを表し、世界への情報発信と貢献的に生き生きと活動する生徒・学校像。(躍進)
- 3 校章趣旨
社会知性の開発(創造)をめざし、世界に羽ばたく人材の育成と発展・飛躍する学校

● 校是 「笑顔で明るくありがとう 感謝」

● 校木 クロキ (刻々と成長する)

● 校花 ブーゲンビレア (個性と調節で美しくなる)

● 校鳥 イソヒヨドリ (興味深く元気で物事に励む)

● 校魚 グルケン (色彩を持って価値観を得る＝自己向上)

● 校商 そろばん (人生設計を算出する)

沖縄県立宮古総合実業高等学校 校歌

作詞 宮里尚安

作曲 長濱 隆

♩=120

かま まの み ねに くも - わり き - て
 のう は ゆた ねに みの - り つ - げ
 やび じの う かな しお わく - と こ - ろ

みど - りう だい ちん て りり は え - る
 みか い よう じげ ちん て りり は え - る
 みや こ の しま の あ け の - そ ら

じだ いを つく - る わお こ う どんら がと
 みら いを ひら - く け さんじ ら が

じりう つのこ こひら た - かな - だか - とく
 やく ぶんち か い す - ます - みゆ - く

かか げても あた ゆ むきの わ が ぼ こ う
 ほこれ りもす が た の

3. う みや こ そうご う じ つ ぎょうこう

こう

歌詞の解説

- ※一番では、学校の場所を「鎌間嶺」で知らせ、校訓の「自立」を掲げて門出を祝福。
- ※二番では農業、水産、商業の三科が合同で学ぶ意図を説き「創造」を豊かに生み出していくことを望む。
- ※三番では未来へ向けて大胆に「躍進」する生徒像をイメージ。

一、鎌間の嶺に 雲湧きて
 緑 大地と 照り映える
 時代を作る 若人が
 自立の精神^{こころ} 高々と
 掲げて歩む 我が母校

二、農は豊かな 実り告げ
 海洋資源 守り育て
 ビジネス技能 修めんと
 創造の日々 学び行く
 誇りも高き 我が母校

三、八重干瀬の潮^{うしお} 湧くところ
 宮古の島の 明けの空
 未来を拓く^{ひら} 健児らが
 躍進誓い 進み行く
 晴れの姿の 我が母校
 宮古総合実業高校